

06

FAQ

- 1 国際日本学全般について
- 2 教養コア(国際コア)について
- 3 グローバル・スタディ・プログラム(GSP)について
- 4 グローバル・フィールド・ワーク(BOOT)について
- 5 イングリッシュコミュニケーションについて
- 6 留学について
- 7 グローバルインターンシップ/グローバルボランティアについて
- 8 イングリッシュ・ハウスについて

1 国際日本学全般について

Q1 国際日本学の履修開始方法を教えてください。履修開始には特別な申し込みなどが必要ですか？

A1 国際日本学を修了する場合または履修証明書を取得する場合は、千葉大学 Moodleによるコース登録が必要になりますのでご注意ください。登録方法は P.11をご参照ください。

その上で、卒業・修了するまでに修了要件等¹⁾を満たすように、冊子「国際日本学」に掲載されている授業科目を履修してください。また、国際日本学に指定されている科目によっては、学生ポータルによる履修登録のほか、事前申込やガイダンスへの参加が必要な場合がありますので『Guidance2018』や各学部等で発行されている履修案内をよくご確認ください。

Q2 どのように履修計画を立てたらいいか、具体的なことがわかりません。

A2 国際日本学は4つの科目区分から構成されており、それぞれ修得すべき単位数が設定されていますが、各区分ごとの修得単位数には自由度があり、自分に合った形で履修することができます。まずは、各年度に発行されている「国際日本学」の冊子を熟読するなどし、各自どの区分から何単位取ったらよいか把握し、自分なりの履修計画を立ててみましょう。²⁾ また、スーパーグローバル大学事業推進事務室では、過去の修了者の履修例を閲覧することができますので、ぜひ足を運んでみてください。

Q3 国際日本学の指定科目はどの学年からでも履修可能ですか。

A3 いいえ。科目によっては履修年次が決められている場合がありますのでご注意ください。³⁾ 詳細は各自『Guidance2018』や各学部等で発行されている履修案内等でご確認ください。

Q4 平成27年度に入学しましたが、国際日本学の修了要件は「国際日本学2018」の14ページを参照してよいのでしょうか。

A4 いいえ。国際日本学の修了要件は、平成28年度に変更されています。これに伴い、4区分の履修要件も見直されていますので、国際日本学の修了に必要な

1)平成28年度より国際日本学の修了要件等が変更されています。平成27年度以前の入学生は、それぞれの入学年度に発行された「国際日本学」に掲載されている修了要件等に従い、履修してください。ただし、国際日本学における指定科目については各年度の開講状況により、変更される可能性がありますので、25ページ以降を参照して履修計画を立ててください。

2)国際日本学の履修単位数を記録する「国際日本学学習記録記入カード」をご活用ください。skipwise Webページ上(HOME>国際日本学>「履修の流れ」)よりダウンロード可能です。

3)大学院生が学部等の科目を履修するためには、科目等履修生として登録する必要があります。出願方法等については、所属部局の学務担当窓口にお問い合わせください。

(参照：http://www.chiba-u.ac.jp/education/non_degree/credit.html)

なお、千葉大学大学院に在学もしくは入学予定の場合は、検定料等は必要ありません。

要件単位数等については、各自の入学年度に発行された冊子「国際日本学」に掲載されている修了要件に従い、履修してください。

ただし、国際日本学における指定科目については各年度の開講状況により、変更される可能性がありますので、今年度の指定科目については、本冊子25ページ以降を参照して履修計画を立ててください。

また、平成28年度以降入学者については、所定の履修要件に基づき18単位以上29単位以下を修得すると履修証明書が取得できることとなりました。詳しくは本冊子16ページを参照してください。

Q5 国際日本学の科目はCAP(履修登録上限単位数)に影響されるのでしょうか？

A5 どの科目がCAPに影響されるかは、学部・大学院によって異なります。所属学部・大学院の履修案内等で確認してください。

Q6 国際日本学の留学区分や国際体験区分の単位を修得するため、第3ターム(夏季休業期間)や第6ターム(春季休業期間)に実施される通期集中科目を履修したいのですが、これらの科目も履修登録の上限単位数に含まれますか。

A6 通期集中科目が単位上限に含まれるかどうかは学部によって考え方が異なりますので、詳しくは所属学部の学務担当窓口を確認してください。

なお、上限単位数に含まれる場合は履修登録を行うことはできませんが、授業(プログラム)への参加自体は可能な場合もありますので、詳しくは担当教員に相談してください。

Q7 所属している学部等の卒業要件に入らない単位であっても、国際日本学の単位として認めてくれますか。

A7 はい。国際日本学の指定科目であれば卒業要件とは別に国際日本学の単位として認めます。

Q8 過年度に発行された「国際日本学」を入手したい場合はどうしたらよいですか。

A8 skipwise Webページ上あるいは以下のURLよりダウンロードが可能です。
http://skipwise.chiba-u.jp/course/guidance_booklet/

Q9 大学院に入学したのですが、学部時代にとった単位についても国際日本学の単位として認められますか？

A9 平成27年度以前入学者と平成28年度以降入学者とでは国際日本学の修了要件単位数が異なります。修了要件は、平成28年度以降は30単位、平成27年以前は48単位ですが、異なる課程(学部と修士等)で修得した国際日本学の単位数を合算できるかどうかは、適用される要件により異なります。詳細についてはスーパーグローバル大学事業推進事務室にお問い合わせください。

Q10 国際日本学の修得単位数の状況がよくわかりません。修得単位を管理する方法はありますか？

A10 国際日本学の履修単位数を記録する「国際日本学学習記録記入カード」をご活用ください。skipwise Webページ上(HOME>国際日本学>「履修の流れ」)よりダウンロード可能です。

Q11 ゲートウェイ「セミナー型・プロジェクト型」の科目群に区分されている科目の海外プログラムに参加しました。この科目を、国際日本学「留学」区分で申請することはできますか。

A11 可能です。国際日本学のゲートウェイ「セミナー型・プロジェクト型」の区分に設置されている科目のうち、海外の実習を伴う科目については、国際日本学の修了認定および履修証明書取得申請の際に「留学」区分として申請することができます。

具体的には以下の科目の海外プログラムについて、「留学」区分で申請できます。

- ・グローバル・フィールド・ワーク(BOOT)
- ・グローバル・スタディ・プログラム(GSP)

Q12 「国際体験」区分に指定されている科目の海外プログラムに参加しました。この科目を、国際日本学「留学」区分で申請することはできますか。

A12 可能です。国際日本学の「国際体験」の区分に設置されている科目のうち、海外の実習を伴う科目については、国際日本学の修了認定および履修証明書取得申請の際に「留学」区分として申請することができます。

具体的には以下の科目の海外プログラムについて、「留学」区分で申請できます。

- ・グローバルインターンシップ
- ・グローバルボランティア

Q13 国際日本学(グローバル・マイナー)における「英語による科目」はどのようにして知ることができますか。

A13 国際日本学(グローバル・マイナー)の対象科目は、指定科目一覧のグローバル・マイナーの欄に「★」と表記されています。国際日本学(グローバル・マイナー)では「ゲートウェイ」区分を英語による科目のみで履修する必要がありますので、修了を目指す場合は★印のついた科目を履修してください。なお、「イングリッシュコミュニケーション」区分、「留学」区分、「国際体験」区分は国際日本学の指定科目全てが国際日本学(グローバル・マイナー)の対象となります。

Q14 国際日本学の修了をめざしたいのですが、30単位の修得が難しい場合、途中から履修証明書の取得に変更することはできますか。

A14 可能です。国際日本学を修了する場合も履修証明書を取得する場合もMoodleの登録コースは同じですので、コース変更等の手続きもありません。

Q15 国際日本学の履修証明書を取得したいのですが、その場合でもMoodleから登録する必要がありますか。

A15 はい。国際日本学の修了証書ではなく履修証明書の取得を希望する場合もMoodleでの登録が必要です。

Q16 国際日本学の修了認定と履修証明書取得申請時期を教えてください。

A16 国際日本学の修了認定等申請期間は、卒業(修了)年次の12月初旬～12月下旬までのおおよそ1か月の間です(前期卒業(修了)の場合は7月初旬～7月下旬)。skipwise Webページ上等で周知しますので、各自ご確認ください。

Q17 国際日本学の修了証書及び履修証明書はいつ取得できますか？

A17 卒業・修了時に取得できます。

2 教養コア(国際コア)について

Q18 普遍教育科目の教養コア(国際コア)の単位は、国際日本学として認められますか？

A18 平成27年度以降に入学された方は、普遍教育科目教養コア(国際コア)の単位が、ゲートウェイ「講義型」区分として申請可能です。

3 グローバル・スタディ・プログラム(GSP)について

Q19 海外に行ったことがない、あるいは学部の1年生でも、このプログラムに参加しても大丈夫でしょうか？

A19 グローバル・スタディ・プログラム(GSP)は、海外未経験や専門知識を持たない学生も含め、誰でも参加できるように作られている普遍教育科目の授業です。海外未経験の学生も、新入生の履修者も毎年必ずいます。学習意欲と好奇心があれば参加可能です。

Q20 グローバル・スタディ・プログラム(GSP)と語学研修や文化体験等の留学プログラムとの違いを教えてください。

A20 グローバル・スタディ・プログラム(GSP)は「英語を学ぶ」プログラムではなく、特定のテーマについて協定校の学生と協働で「英語で学ぶ」授業であり、語学学習や文化体験を中心的な目的に据えていません。もちろん、この授業を受講した結果として語学の習得や相手国の文化を知る機会があることは言うまでもありません。

Q21 現在大学院1年生ですが、グローバル・スタディ・プログラム(GSP)を受講できますか？

A21 できます。科目等履修生の登録を必ずしてください。なお、出願期間等⁴⁾については、各自ご確認ください。

4) 大学院生が学部等の科目を履修するためには、科目等履修生として登録する必要があります。出願方法等については、所属部局の学務担当窓口にお問い合わせください。

(参照：http://www.chiba-u.ac.jp/education/non_degree/credit.html)
なお、千葉大学大学院に在学もしくは入学予定の場合は、検定料等は必要ありません。

Q22 日本国籍を持っていないのですが、グローバル・スタディ・プログラム (GSP) に参加することは可能でしょうか？

A22 千葉大学で行うグローバル・スタディ・プログラム (GSP) の場合は国籍を問わず参加できます。ただし、海外協定校で実施されるグローバル・スタディ・プログラム (GSP) の場合は、本学に在籍している学生でかつ滞在国のビザを取得できれば参加できます。

Q23 奨学金の対象者はどのように決まるのでしょうか？

A23 参加希望アンケート、インタビュー、そしてオリエンテーションの際に参加希望者の英語力・学習動機が判断され、対象者が決まります。なお、毎年の奨学金の数が限られているので、グローバル・スタディ・プログラム (GSP) に参加したい方は早めに各科目の担当者にご連絡ください。留学生は奨学金支給の対象にはなりません。ただし、永住権を持っている外国籍の学生は支給の対象になります。

Q24 千葉大学で実施されるグローバル・スタディ・プログラム (GSP) では千葉大生に奨学金が支給されるのでしょうか？

A24 千葉大学で実施される場合には、奨学金は海外から来た協定校の学生には支給されますが、千葉大生は対象外です。

Q25 グローバル・スタディ・プログラム (GSP) の詳細はどうなっているか教えてください。

A25 本科目の登録方法については、国際教育センター (CIE) が実施する「授業ガイダンス」で説明します。ガイダンス日程を含む詳細については、Liberal Arts and Collaborative LearningのWebページ (https://cie.chiba-u.ac.jp/liberal_arts/) に随時掲載しています。

4 グローバル・フィールド・ワーク (BOOT) について

Q26 グローバル・フィールド・ワークの授業では、どのような留学プログラムを実施していますか。

5)「グローバル・フィールド・ワーク」は授業科目名称、「BOOT」とは本科目の一環として実施している短期留学プログラムの通称です。

A26 グローバル・フィールド・ワークでは、アジアの協定校を派遣先として、第3ターム(夏季休業中)及び第6ターム(春季休業中)に2週間程度の短期留学を行うBOOTプログラムを実施しています。⁵⁾

Q27 グローバル・フィールド・ワーク(BOOT)の募集時期はいつ頃ですか。

A27 夏プログラムについては4～5月頃、春プログラムについては10～11月頃に参加者の募集を行う予定です。なお、募集期間中には説明会も実施する予定です。

Q28 グローバル・フィールド・ワーク(BOOT)のプログラム内容や履修方法についての詳細は、どこで知ることができますか。

A28 募集要項や説明会にて詳しいプログラム内容をご案内します。なお、募集要項はskipwise Webページに掲載するほか、説明会でも配布する予定です。

Q29 グローバル・フィールド・ワーク(BOOT)への参加申し込みの際には、学生ポータルによる履修登録をする必要がありますか。

A29 申込時に学生ポータルによる履修登録をする必要はありません。参加が確定した方のみ履修登録が必要となりますが、この手続きは学務部留学生課で行いますので、学生自身で行って頂く必要はありません。

Q30 グローバル・フィールド・ワーク(BOOT)のプログラムの参加費はどのくらいですか。また、奨学金を受給することができますか。

A30 具体的な参加費と奨学金については、説明会や募集要項でご案内する予定です。

5 イングリッシュコミュニケーションについて

※普通教育科目教養展開科目の「イングリッシュコミュニケーション」科目に関するQ&Aです。

Q31 イングリッシュコミュニケーションの履修方法を教えてください。

A31 本科目は、まずskipwise Webページ上の授業申込専用サイトのマイページから事前申込みを行ってください。イングリッシュコミュニケーションは、レベル別・少人数で行うため、申し込み後に人数調整(申込み多数の場合は抽選)を行い、ク

ラス分け結果をマイページ上で発表します。クラスが確定したら学生ポータルによる履修登録を各自で行ってください。詳しい履修方法はP.45～に掲載されていますので、よく確認してお申し込みください。

Q32 今年度イングリッシュコミュニケーション中級を履修した場合、次年度は同一科目を受講することはできないのですか？

A32 いいえ。本科目は、授業内で様々なトピックに関するディスカッションを英語で行い、授業時間数を重ねることで英語によるコミュニケーション能力を高めるという目的があるため、同一名称科目を重複履修することができます。

Q33 大学院生でもイングリッシュコミュニケーションは履修できますか？

A33 はい、履修できます。ただし、「イングリッシュコミュニケーション」は普遍教育科目のため、科目等履修生の出願が必要です。⁶⁾ 所定の出願期間に科目等履修生としての申請をされていない場合には、本科目を履修していただくことはできませんのでご留意ください。

6) 大学院生が学部等の科目を履修するためには、科目等履修生として登録する必要があります。出願方法等については、所属部局の学務担当窓口にお問い合わせください。

(参照：http://www.chiba-u.ac.jp/education/non_degree/credit.html)

なお、千葉大学大学院に在学もしくは入学予定の場合は、検定料等は必要ありません。

Q34 1タームに2クラス受講することは可能ですか。

A34 本科目は原則、1ターム1クラスのみを受講となっております。ただし、上級IIレベルを受講可能な学生に限り、上級Iクラスを受講していただける場合があります。ご自身のレベルに関しては、46ページに記載されている「レベル分け基準表」でご確認ください。

Q35 イングリッシュコミュニケーションは卒業要件単位として認められますか？

A35 本科目が、卒業要件単位として認められるかは、各学部によって異なりますので、まずは所属学部において、イングリッシュコミュニケーションが該当する教養展開科目「コミュニケーションリテラシー能力を高める」が卒業要件単位として認定されているか確認してください。

Q36 単位はいらないので、イングリッシュコミュニケーションを聴講という形で受講できますか？

A36 本科目は原則聴講という形での受講はお断りしておりますが、各部局のCAP制

や履修制限などにより、本科目の受講が難しい場合に限り、クラスの空き状況を鑑みた上で、聴講という形での受講が認められることもあります。まずは、スーパーグローバル大学事業推進事務室にお問い合わせください。なお、聴講という形で受講した場合は、単位は付与されませんが、授業内での発言や宿題、最終アセスメントの実施などは通常通り行っていただきますので、その旨ご留意ください。

Q37 イングリッシュコミュニケーションのオンラインレベルチェックを受けた後、画面上で自分のスコア(レベル)を確認することができますか？

A37 確認することはできません。

Q38 イングリッシュコミュニケーションの履修申し込みを行いクラスが決定したのですが、事情により履修を変更・取消したいと思っています。その場合、学生ポータルから履修登録を取消しすればよいですか。

A38 いいえ。第1タームおよび第2ターム・第4タームおよび第5タームとも、クラス決定後に変更・取消を希望する場合は、必ず授業申込専用サイトのマイページから変更・取消の希望を出してください。スーパーグローバル大学事業推進事務室にて変更・取消内容を確認後、マイページにて受付の可否を通知しますので、クラスが確定したら学生ポータルによる履修登録を各自で行ってください。

なお、お申込み内容の変更および取消しについては、それぞれ所定期間内にご連絡ください。詳細は54ページ、57ページをご確認ください。

また、大学院生については、科目等履修生の申請後は原則、変更・取り消しいずれについても受付けておりませんのでご留意ください。

Q39 イングリッシュコミュニケーションの履修期間中に何回か授業に参加できない日がありますが、ほかの曜日に振りかえることは可能ですか？

A39 登録をしたクラスに継続して出席していただいた上で、評価を行いますので、振替等の対応は行っていません。

6 留学について

Q40 留学(短期・長期)の申込方法を教えてください。

A40 国際日本学の「留学」科目群として指定されている留学のうち、短期留学については、各プログラムが開催する説明会に参加して詳細を把握してください。長期留学に関してはそのプログラムを実施している機関・担当部署に申込みを行ってください。また、海外派遣留学プログラム(12ヶ月まで)については国際教育センター内海外留学支援室にお問い合わせください。

Q41 留学に関する奨学金制度について教えてください。

A41 留学のための奨学金制度として、学部学生を対象とした「千葉大学学部学生留学支援奨学金」があります。募集通知は、下記のURLに掲載します。

URL:<http://www.chiba-u.ac.jp/global/sai/index.html>

その他、学内の留学プログラムに付随する奨学金については、そのプログラムを実施している機関・担当部署にお問い合わせください。なお、海外留学支援室Webページ⁷⁾にて、大学に寄せられた奨学金の情報⁸⁾を随時掲載しています。

7) 海外留学支援室Webページ:

URL:<https://cie.chiba-u.ac.jp/sase/>

8) 奨学金のほとんどは、日本国籍もしくは日本の永住権を有していることが条件となっています。なお、奨学金については独立行政法人日本学生支援機構のWebページも参照してください。

URL:<http://www.jasso.go.jp/>

Q42 留学生ですが、留学を申し込むことは可能ですか?

A42 まずは、そのプログラムを実施している学内の担当者にお問い合わせください。

Q43 留学先で修得した単位のうち、4単位が千葉大学の単位として認定されましたが、国際日本学への認定の仕組みについて教えてください。

A43 留学先で修得した単位のうち、本学の単位として認定されたものが国際日本学の単位としても認定されます。また、留学で修得した単位は講義型科目群に指定されている場合でも、「留学」区分として申請が可能となる場合があります。詳しくは、スーパーグローバル大学事業推進事務室にお問い合わせください。

7 グローバルインターンシップ／グローバルボランティアについて

Q44 昨年度のTOEICスコアは、グローバルインターンシップの参加条件として認められますか？

A44 認められます。ただし、プログラムによって求められるスコアが異なります。

Q45 1年生ですが、グローバルインターンシップの海外プログラムに参加できますか？

A45 参加できません。原則として、グローバルインターンシップは2年生以上の方が対象となっています。ただし、春休み期間に実施する春季プログラムについては1年生でも参加が可能です。大学院生も必要な手続きを行うことで参加が可能です。

なお、グローバルボランティアは1年生からでも参加が可能です。

Q46 留学生ですが、グローバルインターンシップ／ボランティアに参加できますか？

A46 留学生も参加ができます。ただし、派遣先によっては十分な日本語能力が求められることをご了承ください。また海外プログラムの場合、奨学金の支給ができません。更にビザ取得については自身で手配する必要があります。

Q47 グローバルインターンシップ／ボランティアへの申込方法を教えてください。

A47 各ガイダンスや説明会にて募集要項を入手できます。募集要項で応募に必要な書類や手順を確認してください。ガイダンス開催後はskipwise Webページで募集要項を入手することができます。申込時に学生ポータルによる履修登録を行う必要はありません。

Q48 グローバルボランティアに申し込んだ場合、必ず希望したプログラムに参加することができますか？

A48 いいえ。グローバルボランティアは、プログラムによっては募集人数に上限がある場合や若干名しか募集しない場合があります。

エントリーシート提出後、担当教員による選考を行いますので、選考に通らなかった場合はプログラムに参加することはできません。

なお、グローバルボランティアには、海外プログラムと国内プログラムがありますが、海外プログラムについては数名程度しか受け入れないものが多いため、詳細はガイダンス等で確認してください。

Q49 事前学習が行われる時間帯を教えてください。

A49 シラバスで確認してください。またガイダンスでも詳細を説明しますので履修を希望される方はできるだけガイダンスに参加してください。

Q50 グローバルボランティアに興味があります。履修方法と費用について教えてください。

A50 グローバルボランティアの履修には、原則として、「グローバルボランティア事前学習」(第2ターム開講)を履修していただく必要があります。詳細は、本冊子75ページをご参照ください。

また、本科目は事後学習、成果報告と50時間相当の活動で単位認定されます。学期中のプログラムと休業期間を利用したプログラムがありますが、学生ポータルでの登録は行わず、教員の指示に従って履修してください。

費用については、プログラムの渡航先によって異なりますので募集要項やWebページ等で確認してください。また、学外の団体が主催するボランティアプログラムについては、ガイダンスにて各団体の担当者が直接プログラム説明を行います。プログラムによって申し込みの手続きが異なりますので、興味のある人は必ずガイダンスに出席するか資料等で確認してください。

Q51 グローバルボランティアⅠ、Ⅱ、Ⅲの違いを教えてください。

A51 「グローバルボランティアⅠ」では、国内外において初めてボランティアに参加する学生向けに、初歩的なプログラムを提供します。「グローバルボランティアⅡ」では、「グローバルボランティアⅠ」を既に履修した学生、ボランティアの経験やそのフィールドに対する一定の知識を持った学生向けに現地集合・現地解散のできる海外プログラムを提供します。「グローバルボランティアⅢ」には、自らでプログラムを開拓するなど、高度なプログラムが該当します。「グローバルボランティアⅡ」と「グローバルボランティアⅢ」に該当するプログラムに参加希望の学生は、担当教員ならびに協力団体が面接を行い、適性を判断します。

Q52 一覧にはないインターンシップやボランティア活動に参加しました。これはグローバルインターンシップ／グローバルボランティアとして認められますか？

A52 グローバルインターンシップ／ボランティアは事前学習・事後学習及び50時間相当の活動に従事する必要があります。また、そのインターンシップ／ボランティアの活動内容が科目の趣旨に合うものかどうかは担当教員が判断します。これについては活動する前に担当教員に相談してください。

8 イングリッシュ・ハウスについて

Q53 イングリッシュ・ハウスは誰でも利用できますか？

A53 千葉大生及び教職員でしたら、誰でもご利用いただけます。
(イングリッシュ・ハウスのご案内については、78～79ページをご覧ください。)

Q54 イングリッシュ・ハウスの利用方法を教えてください。

A54 2階にはスタッフが常駐しています。
皆様のご希望をお伺いしてから、レッスンのご予約方法や各講座について具体的にご案内しますので、お気軽にお越しください。⁹⁾

9) イングリッシュ・ハウスお問い合わせ先

電話：043-290-3987

email：english-house@chiba-u.jp

公式Webページ：http://www.chiba-u.

ac.jp/englishhouse/

facebook：Chiba University English

House

Twitter @EnglishHouse_CU

Q55 英語にあまり自信がないのですが、利用できますか？

A55 もちろんです。利用者は基礎英語から少しずつ思い出していきたいという方がほとんどなので、どのレベルの方でも安心してご利用いただけます。